





チューター制度とは？

東北大学のチューター制度は、本学に在学する学生に外国人留学生に対する学習、研究及び日常生活の支援活動を行わせることにより、留学生の学習効果の向上、円滑な研究の実施及び環境への速やかな適応を図ることを目的としています。

留学生の所属部局では、入学または交換留学開始後間もない外国人留学生1名につき原則1名のチューターを配置しています。週2時間を目安に日本語、学習、生活適応の面でサポートすることが期待されています。

チューターの資格

- チューターは、留学生の指導教員の推薦に基づき、原則として留学生の専攻する分野に関連のある学生(学部生・大学院生)を選定します(外国籍の学生でも可。ただし、非正規生は不可)。
- チューターは留学生の身分より高位の学生身分(学位や学年)が望ましいですが、留学生が期待する指導等の内容によっては学生の身分は限定されません。

チューターの役割

チューターは大学における最初の「友人」として、大学の「先輩」として日本を良く知る「道先案内人」として留学生の日本での学習や研究生活の大きな支えとなることが求められます。ですが、チューター制度は指導教員が留学生の指導をチューターに委託する制度ではありません。指導教員や事務職員などと協力しながら、研究などの学習支援、大学生活や日常生活上の生活適応支援、日本語を教えてあげたり通訳をしたりする日本語支援といった3つの面の支援が期待されています。



大学生活や日本の生活に馴染むにつれてチューターの役割は変化します。来日直後の日本での生活にまだ慣れていない段階では、ATMの使い方や食堂の使い方など身の回りの支援を必要としているかもしれませんが、1年経つと自身の研究の報告会でのプレゼンの仕方や論文に関する質問を留学生が多くしてくるかもしれません。それぞれの段階に合わせて支援することが大切です。そのためにも、指導教員や事務職員、そして留学生本人との密にコミュニケーションをとり、支援の在り方を常に見直し、考えていってください。

+

チューターの活動内容

日本語学習や研究などの学習活動、身の回りのことなどの日常生活、サークル活動やイベントなどの課外活動の面での支援をすることが業務になります。



日本語支援

留学生が大学で勉強したり、日本で生活したりするにあたって必要な日本語の支援をします。

例) 日本語の宿題を一緒にする、日本語が分からない時に通訳をする など



学習支援

留学生が大学で授業を受けたり、研究をしたりするにあたっての支援を行います。

例) 図書館の使い方を説明する、履修登録の仕方を説明する、プレゼンテーションの練習をする など



生活適応支援

留学生が日本での生活、大学生活をスムーズに行えるように支援します。

例) ATMの使い方、学食や購買などの学内施設の使い方、官公庁などでの手続きの補助、携帯電話の契約などの付き添い など

日本語支援、学習支援、生活適応支援に限定することなく、指導教員や事務職員、留学生自身とよく話し合っって留学生が必要としている支援を行ってください。

また他の留学生やそのチューターと一緒に活動することで、より広いつながりを作ることができます。留学生とチューター1対1ではマンネリ化しがちな時も、複数の留学生やチューターがいることで活動の幅が広がります。

活動時間

週1日、1回あたり2時間(月8時間)が活動の目安です。留学生とチューターのスケジュールが合わず、週1日、1回あたり2時間が確保できない場合は、翌週に多めに時間を確保するなどして調整をしても構いませんが、活動を円滑に継続させるためには、毎週決まった時間・場所で定期的に会うことをお勧めします。

謝金

謝金支払いの対象となる活動の上限は、1セメスターあたり48時間ですが、謝金の支給は活動報告書の内容、申請時間数をもとに判断します。謝金は学期ごとにまとめて口座に振り込まれます。

活動計画書・活動報告書

学期の始めに活動の計画を立て、所属部局所定の活動計画書を提出してください。実施後は、所属部局所定の活動報告書に活動の日時、時間数、内容等を記載し提出してください。提出先は、担当窓口(指導教員または教務係)です。

この活動計画書および活動報告書は、チューター制度の改善にも使われる大切な資料となりますので、記載例を参考にできるだけ詳しく記載してください。

チューター活動計画書（20XX年 X期）

平成 XX年 X月 XX日

チューター氏名 東北太郎 

留学生氏名 ジョン・スミス

留学生指導教員氏名 仙台 花子

期間：20XX年XX月XX日 ～ 20XX年XX月XX日

実施予定 毎週 ○曜日 16:20～18:20

回	月日	時間	内容
1	X/X	2	仙台駅出向かえ（実施済）
2	X/	4	区役所転入手続き・銀行口座開設（実施済）
3	X/X	2	履修登録補助
4	X/X		
5	X/X		
6	X/X		
7	X/X		
8	X/X		
9	X/X		
10	X/X		
11	X/X		
12	X/X		
13	X/X		
14	X/X		
合計			

チューター活動報告書 20XX年 X月分

平成 XX年 X月 X日

チューター氏名 東北太郎



留学生氏名 ジョン・スミス



平成 XX年 X月分の活動は次のとおり行いましたので報告いたします。

年月日	時間	支援内容	気づいたこと
X/X	2	大学院に進学するにあたっての出願書類記入の補助を行った。	ジョンさんは、大学院で勉強することにとってもモチベーションを持っている様子。
X/X	1	日本語の授業で勉強したことの復習を一緒にした。ロールプレイの形で会話練習を一緒にした。	最初は教科書通りに話そうと一生懸命な様子だったが、練習していくうちにとても自然にすることができたので良かった。
X/X	2	履修している授業の中間テストの準備として教科書を一緒に読んだ。	分からない漢字があると、そこで文章の意味も分からなくなってしまう模様。今度一緒に漢字の練習もしたい。
X/X	1	家族に贈り物をしたいということで郵便局に付き添い、説明が理解できているか確認した。	日頃は何気なく郵便局を利用していたが、宛先を書くフォームなど外国人には分かりにくい書類やシステムも多いと思った。
X/X	2	授業以外の日常生活で使う漢字の練習をしたいとのことなので、図書館の漢字ドリルを使って一緒に練習した。	漢字の学習は繰り返し書いたり意味を覚えたりと単調なので一人でやっているとおぼえてすぐ止めてしまうとジョンさんが言っていたので、今度からも一緒にすることで継続的な練習につなげていきたいと思った。



+ チューターとして活動するにあたって 注意事項

始める前に

相手のことをよく知り、どんな支援を必要としているのかを話し合うことは、とても大切です。

<留学の目的>

学位取得なのか、交換留学なのか、大学院進学を目指した研究生なのかなど、何のために東北大学に来たのかを確認してください。

<日本語学習>

留学生の日本語のレベルは様々です。日本語学習に対するモチベーションも様々です。日本語の学習についても聞いてみて、留学生がどんな支援を必要としているのかを聞き、支援に役立ててください。

継続していくにあたって

- 相手の話をよく聞く。分からないことをそのままにしない。
- 相手にわかりやすい言葉で伝える。
- 約束の時間を守る。遅れそうな時は必ず相手に連絡する。
- 相手と会うことができなくなった場合は、速やかに指導教員または事務職員に連絡をすること。
- 約束の日にち・時間は必要に応じて書いて確認する。
- 相手に電話できる時間帯を確認し、緊急時以外はルールを守る。
- お金の貸し借りはしない。
- 相手の文化的、民族的、宗教的信条に敬意を払い、自分の価値観を押し付けない。
- チューターは留学生を助けるばかりではなく、将来的な自立を目指したサポートを行う。





東北大学高度教養教育学生支援機構
グローバルラーニングセンター

TOHOKU
UNIVERSITY